

# 野々市町文化協会

## だより

第 5 号

発行人 野々市町文化協会  
谷下通夫  
事務所 野々市町中央公民館内  
本町2丁目1-20  
(0762) 48-0521

### 新しき 出発にあたって

野々市町文化協会

会長 谷下 通夫

過日(七月九日)、文化会館  
フォルテで開催された平成四年  
度文化協会総会の席で思いがけ  
ずも会長のご指名をいただき、  
非力をも顧みず会長をお引き受  
け致しましたが、文化協会の役  
割が何なのかなどが分かりかけ  
てくるにつれて、今更のように  
職責の重大さを痛感しているこ  
ろであります。

又即前会長をはじめ幹部の皆様  
のご努力により、加盟団体も設  
立当初の九団体から十三団体へ  
と増え、文化協会としての基盤  
も逐次整備されて参りました。  
ここにあらためて前任の方々  
のご努力に対して感謝を申しあげ  
る次第であります。

申すまでもなく、文化協会と  
いうのは各種文化団体の連合体  
でありますから、協会の活動い  
かんによって町の文化向上に大  
きく寄与し得るものだと考えま  
す。

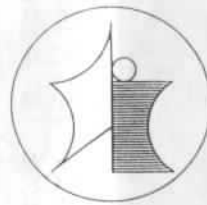
それだけに加盟団体間の連携  
を密にし、より幅広く、より質  
の高い活動ができるよう努力が  
必要であり、私も精一杯会長と  
して懸命に頑張って行きたいと  
思っております。

なお、協会の運営にはなんと  
申しましても協会の御協力、  
御支援が大きな力となるのであ  
ります。

町民の皆様方をはじめ、町当  
局並びに町関係の方々への深い御  
理解と御支援をお願い申し上げ  
るとともに当協会へのより温か  
い御助力をお願い申しあげまし  
て就任のごあいさつといたしま  
す。

### 協会のシンボルマーク

決まる!



町民の方より一般公募いたし  
ておりました協会のシンボルマ  
ークに野村祥子さん(本町)丁目  
の作品が選ばれました。

野村さんが考案したマークは、  
野々市町の頭文字「N」と「文  
化」をデザインした斬新な作品  
です。

なお、応募総数は五十七点で、  
佳作に三納友吉さん(本町三丁  
目)、大平松三さん(太平寺二  
丁目)の作品が選ばれました。  
多数のご応募ありがとうございました。

### 文化功労賞に

亀井 秀明氏



平成三年度文化協会表彰式  
は十一月三日の文化の日、文  
化会館フォルテで挙行され、  
初代理事長の亀井秀明氏が表  
彰されました。

▽第二号文化功労賞

亀井秀明氏

(太平寺丁目)

野々市町文化協会の設立に  
参画し、協会発足後は初代理  
事長として組織の基礎づくり  
と活動の充実に努められるな  
ど、野々市町の文化発展に大  
きく貢献されました。

# 野々市町文化協会 協会だより

## 会員のバッヂ

### 決まる

### 椿愛好会

椿愛好会結成十八年を記念してバッヂを作成、会員の証としました。

恒例の県外研修は、四月十二日に富山大岩不動尊を参詣、立山風土記の丘を散策後、富山県フラワーセンターで椿展を、福光光徳寺で椿展をそれぞれ見学しました。光徳寺では、広い



本堂に切花、生花と所狭しと展示してあり、圧巻でした。

光徳寺見学の直後、所蔵の美術品が大量に盗難にあったのを知り、最後の鑑賞であったと感無量でした。

毎月の定例会は、椿苗の交換や栽培法の検討等盛況です。

## 健康づくりにダンスを!

### 社交ダンス愛好会

私は七十歳でダンスの世界に入りました。友人の医師より人間は長生きする薬はないが、大脳を刺激することにより体の組織の活性化が起こり、組織が若返ると聞かされ、友人が公民館の一室を借りてお互いに楽しく踊っている中へ仲間入りさせてもらい、六カ月後に社交ダンス愛好会を結成。ダンス教師の指導を受け、今日に至っています。

この会は、スポーツ精神をもって老後の健康増進を図ることを目的としています。

厳寒の冬の夜、公民館でダンス音楽のリズムに乗って楽しく踊る。それが健康になる秘訣です。私も皆様のお陰で大変健康になり、精神的に若返り、皆様に感謝しています。会員は、毎年四月一日入会で募集しています。お気軽にどうぞ。

(会長 絹川善作 七十八歳)

## 発見と創造の よろこびを

### 俳句協会

俳句を通じて自然や生活を描く、短詩の世界に入ってみませんか。

俳句協会は、この同好者の集まりです。昨年、発足して白峰へ山里の歴史と文化をたずね、吟行しました。町民文化祭や椿まつりに作品を展示し、新年には懇親をかねて新年句会を開きました。

今年は国民文化祭の俳句の部が、俳聖「芭蕉」の「奥の細道」の舞台である山中町で開かれるので、この地を吟行しました。



## 碁一緒に!

### 囲碁協会

好きは、うまくなる第一歩です。碁を覚える、わかれば楽しいですよ。

初級者から上級者まで、集まろう・広げよう・コミュニケーションの輪を。

碁は暗記では強くなりません。布石、中盤、寄せには作戦。そして相手の出方や心理を推理する力が必要です。

碁を打って、本を見ることで上達します。

中央公民館での定例会(毎週土曜日の夜、第一、第三日曜日の午後)にいらっしやい。



## 玄関には 盆栽を飾ろう

### 盆栽愛好会



盆栽は、栄ある伝統芸術であり、世界にも広まっています。

玄関に盆栽を一鉢飾ってあると、その家の心の豊かさが感じられますね。

盆栽は松だけでなく、常緑樹や落葉樹、さらに草ものといつて野草も含まれます。

毎月一回の定例会で、その月の手入れの勉強会と手持ちの鉢の交換会があります。

展示会は、六月、十一月、三月と公民館、文化会館フォルテで行っています。

みなさんのご入会をお待ちしております。

### 十五周年記念

#### 花展を開催

##### 華道協会

爽秋の季を迎え、九月十二日  
十三日は当協会設立十五周年  
記念花展をフォルテホールで  
開催いたしましたところ、多数  
の参観者があり、盛大裡に終了  
いたしました、一同喜んでいる次第で  
す。

作品は八流派より八十八点の  
出版であり、十五周年を祝し、  
特に功労のあった方々を表彰い  
たしました。

▼十五年継続役員としての表彰  
亀井桂秀（小原流）、若島翠  
節（池坊）、増峯澄（御室  
流）、石沢トシ甫（嵯峨御流）

▼十五年未満十年以上の方に  
感謝状

亀井秀明（協会顧問）、沢野  
嶺佳（草月流）、吉田桂樹  
（古流柏葉会）、高尾嶺華  
（古流柏葉会）、高野清香園  
（松月堂古流）、西保淳甫  
（嵯峨御流）、後藤映芳（草  
月流）



### 第十五回 記念美術協会展

#### 開催へ向け準備中

##### 美術協会

十一月十五日から始まる「第  
十五回記念展」を控え、着々と  
準備が進められています。

協会員も今や六十八名に増え、  
互いに研鑽努力した成果の発表  
の場です。

記念展は、チャリティ展も併  
催され、益金を町の福祉事業等  
に寄付し、明るい町づくりに向  
与したいと考えています。

皆様もぜひお出かけください。  
お待ちしております。

### 音楽に関心のある方 ご一緒にどうですか

##### 音楽文化協会

音楽文化協会も創立以来十五  
年目を迎えました。野々市町の  
音楽文化の振興に少しでも寄与  
すればと活動してきましたが、  
その間、志を同じくする仲間も  
増え、現在七団体（百名）、二  
十数名の個人会員が参加するに  
至っています。

文化祭への参加、機関誌の発  
行の他、会員の自主演奏会への  
後援が主な事業ですが、音楽に  
興味、関心のある方ならどなた  
でも歓迎します。あなたも、音  
楽文化協会に加入され、共に活  
動してみませんか。



### 民謡は日本人の 心のふるさと

##### 民謡協会

唄は世につれ、世は唄につれ、  
世相は目まぐるしく移り、人の  
心も慌ただしいような気がいた  
します。昨日は喜び、今日は憂  
い、毎日の様々なニュースに心  
が痛みます。

しかし、民謡はいいです。悲  
しみを忘れさせ心を明るくしま  
す。

民謡に少しでも興味のある方  
は、野々市・郷・押野・富奥公  
民館で毎週活動していますので、  
お気軽に練習日にお越しくださ  
い。

### 読書の輪が 広がるように

##### 読書会連絡協議会

昨年の町民文化祭では、町民  
の方に自由に参加していただい  
て二回目の公開読書会を開催し  
ました。テキストは、大岡信さ  
んの「折々のうた」よりでとて  
も盛況でした。今年は十一月八  
日に文化会館フォルテ・カルチャ  
ールームで「枕草子」一段から  
十九段までを講師に柳沢良一先  
生をお招きして開きます。

その他に年間行事として、合  
同読書会、文学散歩（今年は七  
尾方面）、講演会等を行ってい  
ます。皆様のご参加、ご入会を  
会員一同お待ちしております。



国民文化祭会場に  
菊を展示

菊花協会



昨年の国民体育大会に引き続き、今年も石川県特有の「七本立て」盆養を文化会館フォルテにて十月二十五日、十月三十一日、十一月一日の三日間開催される国民文化祭に出品しようと会員の皆さんは、日照時間の調節を行い、菊の開花を早めるために日夜頑張っています。  
会員も五十名を越え、準会員を含めますと百五十名を有する団体になりました。  
どなたでもお気軽にご入会ください。

伝統ある

野々市じよんから節

を後世に

野々市じよんから節保存会

貴重な郷土の文化遺産である「野々市じよんから節」を大切に受け継ぎ、さらに次の世代に伝えることが野々市じよんから節保存会の重要な責務であり、また広く町内外にPRすることも大切な事業の一つです。八月一日、二日のじよんからまつりに出演することは勿論、それ以外に町内外の各種事業等からの出演依頼があります。  
新しく入会を希望される方は、踊り、唄、三味線、笛、太鼓と希望される部門を申し出てください。申し込み先 事務局 柳田 四八八―二二一―



子供から大人まで  
気軽に楽しめる将棋

将棋協会

現在、小学生からお年寄りまで約百名の愛好者がA級からD級までの昇降級リーグに分かれて毎週木曜日の夜に中央公民館で熱戦を繰り広げています。  
この順位戦は、二か月を一期間として開催しており、全員の成績と各大会の出場入賞状況等を「協会ニュース」を発行してお知らせしています。  
将棋を通して町民間の親睦の輪が少しでも広がるよう活動して行きたいと思えます。お気軽にご参加ください。

平成4年度

加盟単位団体長

椿愛好会 瀬尾 亮弥  
美術協 会 二又 米造  
野々市じよんから節保存会 村上 一夫  
華道協 会 館 惣吉  
盆裁協 会 向田初三郎  
菊花協 会 島崎 文雄  
読書会連絡協議会 北村 倫子  
囲碁協 会 魚住 雅一  
俳句協 会 金丸 直治  
社交ダンス愛好会 絹川 善作  
音楽文化協 会 宮岸 洋二  
民謡協 会 黒保 竹吉  
将棋協 会 鮎谷久太郎

野々市町文化協会役員

顧問 西尾 修 村山 和雄  
顧問 栗 貴章 東谷 弘  
参事 飯森 又郎  
会长 松本 佐一 米林 勝二  
副会长 谷下 通夫  
理事 無量井三郎 二又 米造  
常任理事 館 惣吉 鮎谷久太郎  
理事 山口 洋二  
源野 辰一 高橋外茂男  
向田初三郎 北村 倫子  
小林 孝次 絹川 善作  
金丸 直治 山本 晃彦  
中島 康雄 大島 昇  
亀井 政子 黒保 竹吉  
若島 節子 丸山 順孝  
奥村 善久 綾間 義明  
宮島 幸一 栗 よし子  
野々市利男  
監事 魚住 雅一 小杉 久夫  
北 清志 山口 良